南中学校だより

令和８年７月１７日（金）
東松山市立南中学校長
栗田　秀人

第 ５ 号

【学校教育目標】心を磨き　本気で学び　たくましく

【目指す学校像】生徒一人一人が生き生きと輝き存分に躍動するとともに、家庭・地域と信頼の絆で結ばれる学校

１学期終業式　式の言葉

おはようございます。今日は１学期の終業式です。私はとても時間が早く過ぎた気がしています。

さて、皆さんは、南中に沢山の燕が飛んでいることに気付いていたでしょうか。１週間ほど前には中庭を盛んに飛び回っていました。あの燕たちは、どうも４月に日本に渡ってきた番い（つがい）の間に、南中で産まれた卵が孵化して育ったひな鳥のようです。

燕は夏の頃を日本で過ごす渡り鳥で、遠くフィリピンやベトナム、マレーシアなど南の方から来るそうで、中には5000キロの旅を終えて、はるばるやってくるものもいるそうです。３月ごろから中庭やベランダの軒下に巣をつくりはじめ、４月に産卵します。２週間程度で卵が孵化し、巣立ちは６月から７月。ひなが巣立つと２度目の繁殖をする番いもあるそうです。子育てを終えた燕は、９月、秋の訪れとともに南に帰っていきます。

そのことから判断すると、今飛んでいるツバメは、４月に１年生が入学し、２・３年生がそれぞれ進級してから同じ時間を南中で過ごしてきたということになります。燕が元気に育ち、旅立つ前の訓練として中庭を飛び回っています。同様に、南中生の皆さんも、とても成長が感じられた１学期でした。燕の姿に皆さんの成長の様子が重なって見えた１学期でした。なかでも体育祭は、１学期最大のイベントだったと感じています。応援団長を筆頭に３年生が団を引っ張り、１・２年生がよく応えていました。一人一人に活躍の場面がありました。競い合う中で集団としても、お互いに高めあうこともできました。良い流れが学校総合体育大会予選会にもつながりました。それぞれの部で試合に出た選手の活躍は勿論、個人で出場した人も、応援に回った人も、それぞれの場で活躍できたと聞いています。体育祭でも、部活動でも、３年生を中心とした上級生の頑張りが、下級生の次への意欲につなげられたと感じています。

燕は、実は３月に南から渡ってきて、前の年ととても近い場所に巣作りをするのだそうです。子育ても受け継がれていくということです。南中生の思いも、歴代の３年生から２年生へ、そして１年と受け継がれていく、と考えることができるのでしょう。これだけ大きな集団が良いところを受け継いで、ますます良い集団になっていくことが続くと考えると、２学期以降が楽しみでなりません。燕は南に帰ってしまいますが、皆さんは２学期になったら南中に戻ってきて、誇れる南中を一緒に創っていきましょう。個々の振り返ると様々な思いがあるでしょうが、南中全体を振り返ると、充実した１学期でした。

ところで、明日から夏休みです。今年は45日間の休みです。気象庁の予報では、夏休みの前半は曇る日が多く、後半は晴れが多い予想です。気温は平年よりも高めとのことで、今年も暑い夏になるのでしょう。まずは、それぞれが体調を崩さないように十分注意すること。そのうえで、２つ、取り組んでほしいことを話します。両方ともこれまでにも話してきた内容です。

一つ目は読書をしようということ。休み中は纏まって本を読む時間を取ることができます。何度も話していますが、本を読んでやめられなくなってしまう経験を、是非、この夏休みにしてください。そして、ビブリオバトルでお気に入りの本を紹介してください。校長主催簡易版ビブリオバトルを夏休みの宿題の一つに入れさせてもらいました。気に入った本の紹介文をA4版１枚程度にまとめてください。２学期には、「本屋大賞」ではありませんが、南中版の読みたい本No.1を決めたいと考えています。賞状と何か副賞も考えますので、是非あなたが面白いと思った本を紹介してください。「学校便り」や全校生徒オンラインに関連の記事を載せました。頑張って取り組んでください。本を読みましょう。

二つ目の話です。生活に関することです。７月の全校朝会で話した内容を覚えているでしょうか。「大人になるということ」という話をしました。話の中では、心のアクセルとブレーキ、そして心のハンドルを上手に使えるようになることが「大人になること」だと話しました。夏休みは自由な時間が沢山あります。様々な情報があるのでしょうが、どの情報に向かってハンドルを切るのか、言い換えると何を選ぶのかを、自分自身で選ぶことが多くなるということです。情報をよく見極め、そのことを達成させるためにアクセルを踏みこみますが、只アクセルを踏み続ければよいわけではなく、時にはブレーキを踏んで、本当にそれでよかったのか考えてみることも必要です。もし道を間違ったと感じたら、ブレーキを踏んで完全に停止し、ハンドルを別の方向にして向きを変えればいい。夏休み中、アクセルとブレーキ、ハンドルを正しく使って、自分自身でよい道を選んで進んでください。

最後に３年生、受験体制に突入したら、気持ちの切り替えをしっかりすること。だらだらと時間を過ごすのは一番よくありません。受験生であるという自覚をもって、けじめをしっかりつけて過ごしましょう。上手に気持ちを切り替えたものが受験を制するのだそうです。

明日からの夏休み、一人一人にとって有意義な時間としてください。そして、９月１日、また、元気に登校してくれることを心から祈っています。

校長主催　南中版　ビブリオバトル

この夏休み、宿題の一環として、あなた自身が読んで面白いと思った本を紹介する「ビブリオバトル」に取り組みます。以下は、南中版ビブリオバトルのルールです。最終的には、各学年１点の最優秀賞を選び、その本を紹介してくれた人を全校朝会で表彰する予定です。まずは、夏休みの宿題として、自分の好きな本の紹介資料を作成してください。

１　ルール：本の紹介を A4 版１枚にまとめます。作成した資料は夏休み明けに担任に提出します。文字数は問いませんが、この本を読んでもらいたい、という思いをワークシートにまとめましょう。

２　注　意：読書感想文ではありません。以下の（１）～（５）までの構成に沿って書いてください。

（１）はじめに（つかみ）：聞き手・読み手の「え？なにそれ？」を引き出す一文を最初に置きます。質問で始める、意外な事実を言う、自分の体験を短く入れる。

（２）本の基本情報　：　必要最低限を短く入れます。書名、著者名、分かればジャンルや一言説明

（３）簡単なあらすじ：　ネタバレは避けつつ、「どんな状況の物語か」だけ伝えます。主人公は誰か、どんなきっかけで話が動き出すか、どんな方向の物語かだけ

（４）推しポイント：　「おもしろかったところ」を具体的に二つか三つにしぼります。登場人物が魅力的、設定がユニーク、共感した場面、グッときたセリフや場面など、それぞれ「なぜ自分は良いと思ったか」を一文足すと、説得力が出ます。

（５）読んでほしい人・一言まとめ：　最後は「誰に」「なぜ」読んでほしいかで締めると、印象に残ります。

（例）「舟を編む」のビブリオバトル用原稿

１　はじめに（つかみ）：　みなさんは、辞書って最後に開いたのはいつですか。その一冊を作るために、何万人もの人生が詰まっているとしたら、少し開いてみたくなりませんか。

２　基本情報：　今日紹介するのは、三浦しをん　さんの小説『舟を編む』です。2012 年の「本屋大賞」を受賞しています。

３　簡単なあらすじ

舞台は出版社の「辞書編集部」。主人公の馬締光也（まじめ みつや）は、会話が苦手で不器用だけれど、言葉への感度だけは人一倍高い青年です。彼は定年間近のベテラン編集者・荒木や、日本語学者の松本先生、軽妙なおしゃべりが得意な同僚・西岡たちと一緒に新しい国語辞典『大渡海（だいとかい）』の編さんに取り組みます。

辞書作りは、言葉の意味を一つずつ確かめ用例を集め何度も何度も推敲する、地味で気の遠くなるような作業です。

物語は、彼らが十五年という長い年月をかけて、一冊の辞書を完成させるまでを追いかけます。

その間に、馬締は下宿先の孫娘・香具矢（かぐや）に恋をし、仲間とぶつかりながらも信頼を深めていきます。仕事と恋、そして「言葉」と真剣に向き合う姿が描かれます。

４　推しのポイント

『舟を編む』というタイトルは、「辞書は言葉の海を渡るための舟だ」という考えから来ています。広大な言葉の海を安全に渡るために、人々は長い時間をかけて、板を一枚ずつ組み合わせるように言葉を選び、並べ確かめていきます。この小説の魅力は、大きく三つあると感じました。

一つ目は、辞書編集という、ふだん意識しない仕事の面白さです。「ふつう」「恋」「美しい」など、当たり前の言葉ほど定義が難しく、編集部のメンバーが真剣に議論する場面は、思わず自分ならどう書くか考えさせられます。

二つ目は、不器用な主人公の成長物語であることです。人付き合いが苦手だった馬締が、仲間に支えられ、自分の言葉で思いを伝えようとするようになる姿は、とても静かなのに胸を打ちます。

三つ目は、「言葉」に対する見方が変わることです。

この本を読んでから、辞書を開くたびに、その後ろ側にいる無数の編集者や研究者の姿を想像するようになりました。何気なく使っている一語一語が、とても尊いものに思えてきます。

５　読んでほしい人・一言まとめ

将来の仕事に悩んでいる人や、「自分のやっていることに意味があるのか」と迷っている人ほど、心にじんわり響く物語だと思います。あなたが今、何気なく使っている好きな言葉は何ですか。その言葉を、誰かが丁寧に舟へと編み込んでくれたのだとしたら、少しだけ『辞書』を手に取ってみたくなりませんか。

一冊の辞書を作る人たちの物語を読むことで、言葉の重さと、自分の仕事の意味をもう一度見つめ直させてくれる小説です。

野球部　学総予選会　プレーオフ

（７月５日（日）：中原球場）

学校総合体育大会比企地区予選会で 2 位になった野球部が、最後の本戦出場権をかけ、大里地区２位の熊谷東中他３校の合同チームと戦いました。結果は初回の２点を守り切り、見事勝利し、県大会進出の栄誉を勝ち取りました。天候不良による順延が続き、集中力や体のキレを保つことが難しかったと思われますが、内容の濃い素晴らしい試合が展開されました。7 月 14 日（火）飯能市民球場で開かれる県大会 1 回戦にコマを進めることができました。応援ありがとうございました。



９月の予定

9	1	火	始業式
	2	水	短縮3時間
	3	木	給食開始　3年第1回比企地区実力テスト
	9	水	新人体育大会（陸上）
	15	火	英語弁論大会
	21	月	祝・敬老の日
	22	火	国民の祝日（休日）
	23	水	祝・秋分の日
	28	月	生徒会本部役員選挙
	29	火	全校朝会
	30	水	新人体育大会（～3日（土））